






公益財団法人
ベネッセこども基金

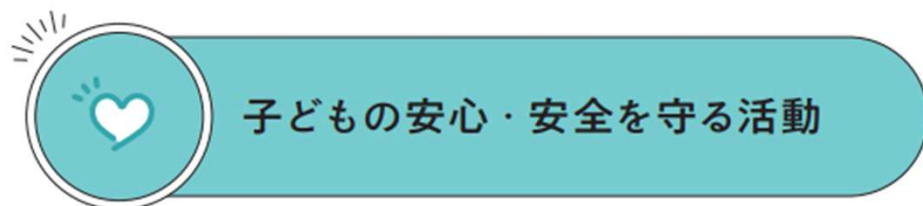
未来ある子どもたちが
安心して自らの可能性を広げられる
社会を目指して



助成事業

助成テーマ	助成対象事業	助成金額	活動期間
 <p>重い病気を抱える 子どもの学び支援活動助成</p>	<p>重い病気により長期入院や長期療養をしている子どもの、意欲を高め、学びに取り組む手助けとなる事業</p>	<p>総額 1,000万円</p> <p>※1件あたり 50～200万円 程度を想定</p>	<p>1年間</p>
 <p>経済的困難を抱える 子どもの学び支援活動助成</p>	<p>経済的な困難により学びに課題を抱える子どもたちの意欲を高め、学びに取り組む手助けとなる事業において、中長期視点で自立的な事業継続・発展を目指す取り組み</p>	<p>1団体あたり 最大3か年 900万円以内</p> <p>※助成金額は、年度ごとに、申請された事業計画・予算を審査の上決定</p>	<p>最大3年間</p>
 <p>災害地の子どもの学びや育ちの支援活動助成</p>	<p>災害救助法の適用があるなど特定地域で深刻な被害があり、かつ子どもへの影響が大きいと判断される場合に</p>	<p>1件あたり 50万円程度</p>	<p>対象となる災害の発生時～6か月以内</p>

自主事業



シリーズ累計のべ約 **120万部***

※2023年3月時点



➡ **教育プログラムを、学校などへ無償提供**

子どもの安心・安全な環境づくりのための支援プログラムの無償提供を、財団設立当初から実施しています。ネット利用の低年齢化により、学校現場からのネットリテラシー教育へのニーズが高まっています。

防災 保育園・幼稚園向け



防災教育紙芝居
「じしんのときのおやくそく」

防犯 小学校低学年向け



子どもの安全・安心
ハンドブックと
安全教室実施パッケージ

ネット 小学校中・高学年向け



初めてのスマホ安心
ガイドブックと
安全教室実施パッケージ

自主事業



経済的困難を抱える子どもの学び支援

助成団体の共通課題の解決に貢献するために、知見あるセクターと協業して支援施策に取り組んでいます。



「学びの質」向上につながる
教材の普及と検証

経済的に困難な状況にある子どもの学習支援領域において、先進的な団体「認定NPO法人キッズドア」と連携して、「学ぶ意欲」と「言葉の力」の向上をねらいとした中学生向け教材を制作し無償配布。同じ課題を抱える全国の団体に活用いただきました。



KIDSDOOR
認定NPO キッズドア

連携



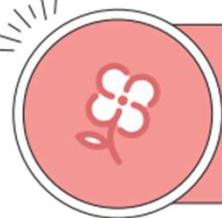
公益財団法人ベネッセこども基金



支援者の育成にも
役立ったとお声も!

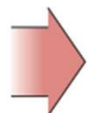


自主事業



よりよい社会づくりにつながる学び支援

先進的な取り組みを行っている団体とともに、子どもたちが、地域やコミュニティに主体的に関わり、社会をよりよくしていく一員としての役割を果たすことができる力を育む活動をしています。



公教育における インクルーシブ教育の推進

5つの自治体の教育行政担当者とともに、視覚のない世界を体験する「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」などを通して、多様性を尊重し、それぞれに所属感のある学校の在り方を検討。「学校はマジョリティ優位な環境になっている」「大人側の意識が変わらないといけない」などの課題意識や、実践の提案が活発になされました。

各自治体での
取り組みの紹介も



自主事業

➡ 中高生による当事者研究と障がいの社会モデルの推進

株式会社リバネスが主催する中高生のための学会「サイエンスキャッスル」にて、教員向け特別セミナー「身近に取り組むダイバーシティ&インクルージョン研究のススメ」を開催。今まで個人の問題とされてきたマイノリティの困難を、中高生自身による「当事者研究」(自分研究)を通して社会で解決する試みを中高の教員の方々とともに実施していきます。



多くの先生が興味を持ってくださいました。

自主事業



病気・障がいを抱える子どもの学び支援



現状と課題

病気そのものや、
同世代の交流機会・体験不足からくる不安

治療や療養生活に対する不安

治療自体のつらさや治療による容姿の変化など、自分ではコントロールできないことが続くことでの無力感などが起きやすくなります。

成長する中での不安

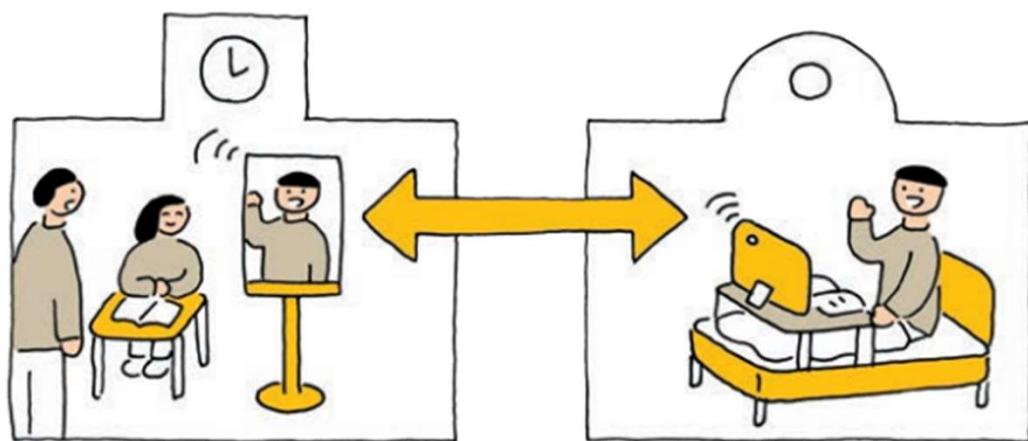
思うように活動できないことによる意欲の減退や、自信喪失により、様々な事柄に対して消極的になりやすくなります。

経験不足からくる不安

同世代の子どもたちと比べて、遊びの体験や行事などに参加する体験の機会が少なく、社会経験が不足しやすくなります。

取り組み

ICTで、入院中・療養中でも
学校とつながれる遠隔授業の実施



話ができ
うれしい!

8年間にわたり、病院や自宅にいな
がら授業を受けられたり友だちと交流
できる環境づくりに挑戦してきました。

2015年度 ~ 2019年度

分身ロボットOriHimeで 「通学」する取り組み

東京都の病弱教育拠点5校と連携し、分身ロボットOriHimeを活用した学び支援のプロジェクトを実施。病室にいる子どもたちが、OriHimeを通じて授業に参加したり同級生との交流をするなど、5年間で400回のケースを積み重ね、東京都で予算化もされました。

子どもの
しぐさを表現できるOriHime。
より一緒に学んでいる感覚に。



OriHimeを通じて
卒業式にも参加



Guests



田村 康二郎 統括校長
都立光明学園



吉藤オリィ氏
オリィ研究所



結城 明姫氏
オリィ研究所



久保田 智子先生
都立墨東特別支援学校



田添 敦孝先生
元都立小平特別支援学校

公益財団法人
ベネッセこども基金

MeetsUp2021 #1

院内学級 プロジェクト 成果報告会

病室の子どもと学校がICTでつながる
学びの可能性

2021.8.19[THU]

20:00-21:30

@ZOOM

分身ロボットカフェ DAWN ver.βより配信

2020年度～2021年度

教室と病気の子どもを
「**確実に**つなぐ」取り組み

継続した学習を行うために、より安定した通信環境を提供することで、子どもと教室を確実につなぐ事業を実施。療育や医療の専門家とともに、特別支援学校へwifiを提供、33校28事例の授業実践をしました。



移動できる
アバターロボット「**temi**」を
通じて、同級生とともに
教室を自在に移動。

2022年度～現在

特別支援学校との関係性を継続しながら
日常で使える汎用的な学び支援モデルの事例創出を目指す

連携校
16校

実践成功事例
30事例

- 7校11事例の**成功事例報告会**開催(参加者約200名)
- メタバース**を活用した**新たな学びモデル**にも着手



病気や障がいを抱える子どもの学び支援

アバターロボットやメタバースを活用した 子どもの「やりたい！」をかなえる モデル校の実践事例

2023.12.8(金)19:00 -21:00

オンライン・参加無料



滝川国芳氏
京都女子大学



林充宏氏
一般財団法人
ニューメディア開発協会



三好祐也氏
認定NPO法人ポケットサポート





- 子どもの最善の利益を考え
- 健やかな成長を社会全体で後押しする。
- そのために私たち大人は
- 子どもたちにどう向き合うべきでしょうか。